

## 講演 まちづくりの主役はあなたです！～地域活性化のために～

藻谷浩介氏は、日本総合研究所調査部主席研究員で、平成合併前3200市町村のすべてや海外86ヶ国を訪問し、地域特性を多面的に把握し地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行っています。近著に「デフレの正体」「里山資本主義」「金融緩和の罠」「しなやかな日本列島のつくりかた」「和の国富論」「観光立国の正体」「日本の大問題」などがあります。

### ◆ 少子高齢化や人口減少は首都圏の郊外都市こそ深刻な状況

講演は、豊富な事例をもとに「イメージ」や「空気」は事実と異なり、常に数字で事実を確認しないと間違えるという話から始まりました。特に昨今の少子高齢化、人口の減少は地方の過疎地の話ではなく、むしろ首都圏の郊外都市の方が深刻で、多摩区もその例外ではない。2015年多摩区の人口は214千人で5年前より約300人増えているが、実際には65歳以上が6200人増、逆に64歳以下は5900人の減となっている。この傾向は今後も続き、高齢者激増による医療介護費用の増大などへの対処のほか、空き家の増大などまちの維持も難しくなるとのことです。

一方これからは95歳以上生きる人が増え、その人たちが定年退職後の膨大な時間、およそ10万時間をどう過ごすのかも問題となります。20歳から70歳近くまでの働いている時間は、1日に8時間とすると合計10万時間になりますが、一方この間の余暇時間もほぼ同じ10万時間です。この間に退職後の10万時間を豊かで楽しい時間にするための準備に充てる必要があります。



豪快に次から次へと話題を展開する藻谷氏

### ◆ これからは仕事ではない地域でのつながりづくりが重要に

では何をしたら良いか、「里山資本主義」的に郊外都市の活性化を考えたらどうか。それには以下のようなことが考えられます。①都市に残る遊休農地を生かし、趣味農業や自給農業を活性化させ、里山の雑木林で薪の自給やキノコ栽培を行い、できた産品の中で質の高いものの直売や学校給食での利用などの郊外都市に残された農地と里山を循環再生させる。②空き家の雑貨屋・カフェ・シェアオフィスへの再生や、空き地を市民農園にするなどの空き家・空き地・空き手（手の空いた人）を循環再生させる。③建物の改築・断熱改修による大幅な省エネや、小水力・風力・地中熱・廃油・廃熱を余さず使い、市外に出るお金を減らすためのエネルギーを循環再生させる。これらをすでに実行に移している地域もあります。

これらを行うため「地域おこし協力隊」を元気親爺 + 元気女性で結成することを勧めます。「きょういく=今日行くところ」と「きょうよう=今日の用事」のある高齢者を増やし、高齢者に元気に歩いて暮らしてもらい、元気にお金を使ってもらうことが理想です。それは「あなた」が自発的に行わなければならない。それには誰もが95歳以上生きるという人生設計のもと、若いころから地域活動を楽しくやっ、仕事以外の人のつながりを多く作る必要があります、ということでした。

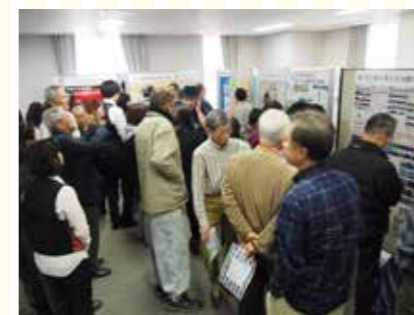


次から次に跳んでくるQ&Aに答える皆さん

## まちカツ！ポスターセッション&交流タイム



大勢の皆さん前で2分間のプレゼン



交流タイムは例年以上の盛り上がり



エプロンがベストプレゼンたま賞の決め手？

今年は26団体を3グループに分けて、各団体2分ずつの活動紹介と9分間の交流タイムをグループごとに行いました。藻谷氏の講演にはじまる会場の熱気そのままに、プレゼンター側も参加者の皆さんも、大いに盛り上がりながらのプレゼンタイムが続きました。

参加者が一番印象に残った団体に投票する「ベストプレゼンたま賞」は、「長尾台コミュニティバス利用者協議会」に輝きました。青い長尾台コミュニティバスをあしらったお揃いのエプロンを身にまとった3名の息の合ったプレゼンが、会場の皆さんの心をグッと掴んだようです。

## まちカツ！ポスター展示・地域活動団体紹介

「まちカツ！」の会期前後にあたる、2月8日（木）から2月15日（木）までの8日間、多摩区役所1階アトリウムにおいて、地域活動団体の活動発表ポスター展示を実施しました。

新たな団体も加わった今回の展示、多摩区内での地域活動の多様さと、充実した活動内容に、驚かれた方も多いのではないのでしょうか。



### 出典団体一覧

- 稲田郷土史会
- ボランティアグループ多摩区役所コンテナ花壇の会
- 登戸研究所保存の会
- インターネット川崎ガイド
- 長尾台コミュニティバス利用者協議会
- 向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会
- かわさきの安全でおいしい水道水を守る会
- FM at. (エフエムエーティー)
- 一般財団法人かわさき市民しきん
- 地域通貨たま運営委員会
- NPO 法人 川崎フューチャー・ネットワーク
- 一般社団法人まくたま
- コスモスペース
- 生田地区すこやか活動推進委員会
- チーム・たま
- 「福島の子もたちとともに」川崎市民の会
- 多摩区でプレーパークをやっちゃおう会
- 傾聴ボランティアきぼう
- かわさき市民後見をすすめる会
- 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- NPO 法人 ぐらす・かわさき
- 三田サポートわなり
- 川崎サウンドテーブルテニスクラブ
- 母子支援活動団体・おしゃべりサロン「あゆみ」
- 丘の上カフェ実行委員会（認知症カフェ）
- ケア・カフェのぼりと

(掲示番号順)